

# Macrophage



## マクロファージ湯崗子の誕生秘話を聞く

小誌37号でご紹介したマクロファージ湯崗子のスキンケア。

その誕生までのお話を株式会社智力のCEOである

柳生哲汪氏と東方曉氏に伺った。

text by Editorial Staff



出会ったときから意気投合  
**柳生**：今から十年ほど前、ある宮崎県の町おこしのための会合に出席しました。その流れから東方さんを紹介されました。東方さんは中国の出身ですが、早稲田を卒業され、ロボット技術者として、機械や制御装置の分野でご活躍です。今は中国と日本の橋渡しのような仕事もされています。はじめてお会いした時からなぜか波長が合うというか、いままでは漠然と中国の方々と話すときには気がつかつていたことも多かったです。「目からうろこ」。東方さんはそういう概念を完全に取り払ってくれました。悲しい歴史の話、今の中国の話、それはもうこんなことまで話していいのかと思うほどいろいろ話し合いました。

**東方**：そうでしたね。その晩、私は飛行機に乗らなければならなかったのですが、ギリギリまで話し込ん

でしまいました。私もなにか自分でできることで日中の民間交流をはかりたいと思っていました。中国と日本は遣隋使、遣唐使の時代から交流が深く、こんなに近い国なのだから人間関係をよくしなければならぬと日頃から思っています。

**柳生**：私は感染症予防に取り組んでいるため、中国でもそのような仕事ができばと思っていました。東方さんと一緒に行つて、現地を見てみたいとも思いました。実際に行つてみると現地の人たちは本当に生懸命。でも感染症の予防に関してはものすごく初歩的なことからやらなければならない。そして時

間も費用も莫大にかかる。これから取り組むにはあまりにもたくさんの課題が見つかりました。

日本と中国をつなぐこと、自分たちができることはないか

**東方**：いろいろ話をしているうちに界面活性剤が肌に悪いか、老化させるかという話になったのです。その時、かつて歴代皇帝も愛した湯崗子温泉というのを思い出しました。実は日本とも関わりが深い温泉で、夏目漱石や与謝野晶子なども愛したといわれています。

**柳生**：私は司馬遼太郎の「坂の上の雲」を愛読していましたから、

哈爾濱（ハルビン）とか大連とか、あの地域にとっても興味を持っていました。湯崗子温泉に実際に出かけてみるとすばらしい温泉でした。とろりとやわらかくおもしろい。温泉に入ると肌がほんとうにすべすべ。それから温泉の成分をみると各種ミネラル成分も豊富でした。そこで、なんども失敗して試行錯誤を繰り返してできたのがマクロファージジャパン湯崗子の「ホワイトウォッシュHC湯崗子」と「ホワイトスパウォーターGC湯崗子」です。

**ACT4**：そうだったのですか。湯崗子温泉に行つてみたいです。

湯崗子温泉は歴史的な名湯  
**東方**：湯崗子温泉は中国四大温泉のひとつ、唐の時代から皇帝や貴族のリゾート地でした。ロシアの人たちもたくさん訪れています。

**ACT4**：中国の皇帝が愛し、日本の名士たちも愛した湯崗子温泉、さらにロシアも関係しているのなら三方国共同のプロジェクトで盛り上げていたらいいですね。

今日はマクロファージジャパン湯崗子ができるまでのお話をお聞きしたのですが、歴史がいろいろに絡んでいてとても興味深いお話が聞けました。一度現地取材してみたいです。ありがとうございました。

東方 曉

中国哈爾濱濱江(ハルビン)生まれ。日本のロボット技術に憧れ、1985年に来日。2001年に東方明林株式会社を創立。2009年東京と龍運業界に進出。現、東方明林株式会社 代表取締役

柳生 哲汪

広島県生まれ。画家、デザイナーを目指して上京。1981年株式会社松林グループを設立。1985年芸術学校をベースにして美容と健康部門を設立。現、株式会社 智力CEO。ホリスティックグループ主宰